

各位

上場会社名 株式会社 エフアンドエム
 代表者 代表取締役社長 森中 一郎
 (コード番号 4771)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 西川 洋一郎
 (TEL 06-6339-7177)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,152	479	463	280	1,883.51
今回発表予想(B)	3,701	480	474	293	1,999.66
増減額(B-A)	△450	1	11	13	
増減率(%)	△10.8	0.3	2.5	4.9	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	3,939	466	455	339	2,267.12

修正の理由

当グループ全体の連結売上高につきましては、当初予想に対して4億50百万円減少の37億01百万円となる見通しとなりました。要因といたしましては、タックスハウス事業において、金融商品の仲介手数料等の収入が、いわゆるリーマン・ショック以降一時的に急激な落ち込みを見せたことなどがあげられます。また、その他事業におけるパソコン教室運営事業においては、当初は直営店舗の新規出店を促進する計画でありましたが、市況を考慮し新規出店を見送ったため、売上面では当初計画から引き下げる要因となりました。

上記のような減収要因があったものの、パソコン教室出店見合わせによる売上原価の自然減はもとより、支払手数料、業務委託料などを中心に適正化を進め、コストの圧縮面では一定の成果を得ることができました。また前期までの継続的な取り組みによって、資産の圧縮を進めたことにより、結果として貸倒引当金繰入額を当初の見積額よりも抑制することができました。これらにより販売および一般管理費の削減額が売上高の減少額をカバーし、480百万円(前期比3.1%増)と当初予想に対しては1百万円(0.3%)の上振れとなる見通しです。

連結経常利益につきましては、上記の増益要因に加え、余剰資金の運用を進めた結果、当初予想を11百万円(2.5%)上回る474百万円(前期比4.2%増)となる見通しです。

連結当期純利益につきましては、上記の変動要因に加え、過去にアウトソーシング事業において計上していたポイント債務が期間経過により消滅したことなどにより、当初予想を13百万円(4.9%)上回る293百万円となる見通しです。

1株当たり当期純利益につきましては、上記の増益要因に加え、当期を通じて自己株の市場買付を進め、株式価値の向上に努めた結果、当初予想を116円15銭(6.2%)上回る1,999円66銭となる見通しです。

以上